



ミシマバイカモについて説明を受ける熊本の子どもたち。三島市南本町

熊本の子リフレッシュ

県東部へ招待、自然を満喫

熊本地震で被災した子どもたちを三島市など県東部に招き、豊かな自然の中で心を癒やしてもらおう「心を元気にするショートツアー」が6日から2泊3日の日程で行われた。

NPO法人「グラウンドワーク（GW）三島」が、街頭募金と県の補助金を活用して開催。熊本県の南阿蘇村や大津町などで被災した幼稚園から高校

生までの28人と親や付き添いの大人7人の計35人が参加した。

初日の6日は三島市の源兵衛川や「三島梅花藻の里」で、希少な水生植物のミシマバイカモを観察したり、清掃作業を体験したりした。翌日は、富士山5合目でハイキングに挑戦。最終日の8日は日本一長い歩行者専用つり橋「三島スカイウォーク」などを訪れ、同日夕に羽田空港から熊本へ帰った。

GW三島は冬休みにも同様のツアーを計画していて、募金活動を続けている。問い合わせはGW三島（055・983・0136）。